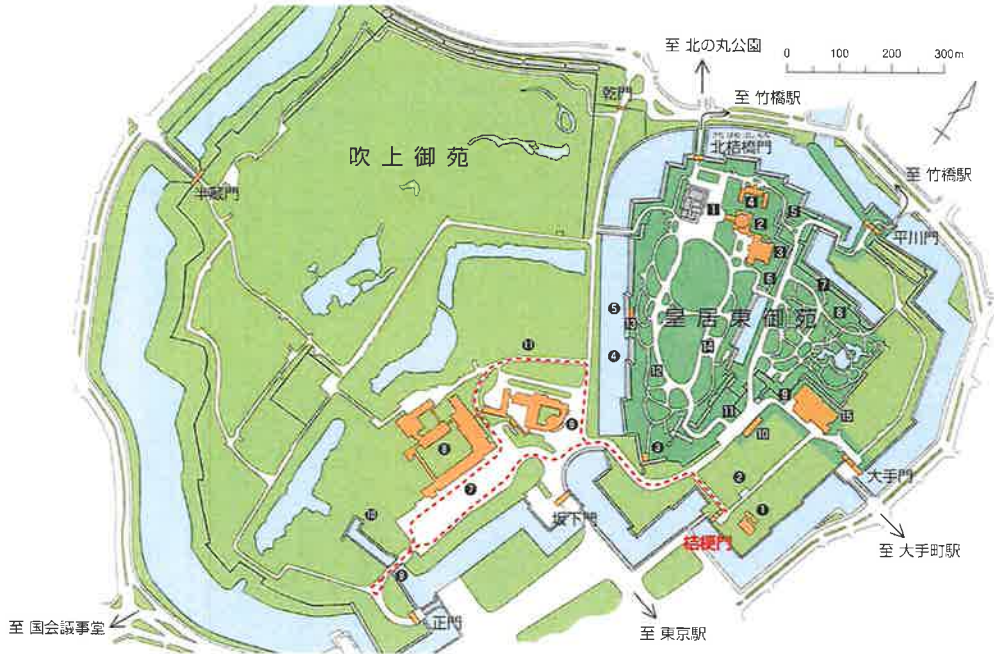


皇居案内図

(----- 一般参観コース) 参観所要時間は約1時間15分



1 一般参観コースから見える建物等

- | | | |
|-----------|---------|-------------|
| ① 慈明館(休所) | ⑤ 富士見多間 | ⑨ 正門鉄橋(二重橋) |
| ② 旧枢密院庁舎 | ⑥ 宮内庁庁舎 | ⑩ 伏見櫓 |
| ③ 富士見櫓 | ⑦ 宮殿東庭 | ⑪ 山下通り |
| ④ 運池濠 | ⑧ 宮殿 | |

2 皇居東御苑内にある建物等

- | | | | |
|---------|----------|----------|-------------|
| ① 天守台 | ⑤ 梅林坂 | ⑨ 同心番所 | ⑬ 富士見多間 |
| ② 桃華楽堂 | ⑥ 汐見坂 | ⑩ 百人番所 | ⑭ 江戸城天守復元模型 |
| ③ 楽部庁舎 | ⑦ 都道府県の木 | ⑪ 大番所 | ⑮ 皇居三の丸尚蔵館 |
| ④ 青陵部庁舎 | ⑧ 諏訪の茶屋 | ⑫ 松の大廊下跡 | |

このパンフレットは、宝くじの社会貢献広報事業として助成を受け作成されたものです。



皇居一般参観(無料)

- 参観は、事前受付及び当日受付による実施
 ・原則として午前、午後の各1回
 ・日曜日、月曜日、国民の祝日に関する法律に規定する休日(ただし、当該休日が土曜日である場合を除く)は休止。
 ・7月1日から9月30日までの午後
 ・12月28日から翌年1月4日までの日
 ・行事等の実施のため支障のある日(同日)
 ♣お問い合わせ先(火~土) 午前8時45分から午後、午後1時から午後5時
 03-5223-8071 宮内庁管理部管理課参観係
 ♣<https://sankan.kunaicho.go.jp>

皇居東御苑(本丸・三の丸)(無料)

- [公開時間] (3月1日から4月14日) 午前9時から午後5時(入園は4時30分まで)
 (4月15日から8月末日) 午前9時から午後6時(入園は5時30分まで)
 (9月1日から9月末日) 午前9時から午後5時(入園は4時30分まで)
 (10月1日から10月末日) 午前9時から午後4時30分(入園は4時まで)
 (11月1日から2月末日) 午前9時から午後4時(入園は3時30分まで)
 [休園日] ・月曜日及び金曜日(ただし、天皇誕生日以外の「国民の祝日」等の休日は公開する。なお、月曜日が休日で公開する場合は、火曜日(休を除く)を休園する。)
 ・12月28日から翌年1月31日
 ・行事の実施等で支障のある日
 [出入口] 大手門・平川門・北橋橋門
 ♣お問い合わせ先(火~水) 03-3213-1111(代表)内線 3621
 (土・日・祝日) 03-3213-2050
 ※原則として水・土曜日・午後にガイド案内が行われている。
 ♣お問い合わせ先 03-5222-0015 (公財)菊葉文化協会

秋季雅楽演奏会(要手続・無料)

- ♣お問い合わせ先 03-3213-1111(代表)内線 3416 宮内庁式部職楽部
 (月~金) ※土・日・祝日は除く。午前9時から正午、午後1時から午後5時
 宮内庁ウェブサイトをご確認ください。
 ♣<https://www.kunaicho.go.jp>

皇居三の丸尚蔵館

- ♣お問い合わせ先 050-5541-8600(ハローダイヤル)
 最新情報は、皇居三の丸尚蔵館ウェブサイトをご確認ください。
 ♣<https://shozokan.nich.go.jp/>

発行 公財財団法人 菊葉文化協会
 写真・資料提供 宮内庁
 写真・資料提供 皇居三の丸尚蔵館

皇居



沿革

皇居は、江戸時代に徳川歴代将軍が居城としていた所である。明治維新の後、明治天皇は、千数十年にわたって天皇がお住まいになっていた京都からお移りになった。以来、ここに天皇がお住まいになり、宮殿では諸行事が行われてきた。昭和20年(1945年)に焼失した明治宮殿に代り、昭和43年(1968年)に現在の宮殿が完成した。

皇居の面積は約115万平方メートルで、濠で囲まれており、周囲に8つの門がある。

このパンフレットは、宝くじの社会貢献広報事業として助成を受け作成されたものです。



宮内庁参観音声ガイドアプリ

1 一般参観コースから見える主な建物等

富士見櫓 (地図⑧)

江戸城の遺構としては最も古いものに属する三重櫓で、方治2年(1659年)の再建である。石垣の高さが約15メートル、櫓の高さは約16メートルである。



宮内庁庁舎 (地図⑥)

昭和10年(1935年)に建築された建物で、戦後、昭和27年(1952年)10月から昭和44年(1969年)3月までの間、三階を仮宮殿として使用していた。



富士見多聞・蓮池漆 (地図⑤・④)

石垣の上に防御と装飾を兼ねて設けられた多聞は櫓の一種でもあるが、倉庫や武器庫として使用されるなど実用にも用いられていた。

高い土垣の下は蓮池漆で、夏季は多くの大輪の蓮の花が見られる。



宮殿東庭 (地図⑨)

新年及び天皇誕生日の一般参観は、この広場で行われる。長和殿に面し、中央バルコニーで両隣下始め皇族方が祝賀をお受けになり、天皇陛下のお言葉がある。



宮殿 (地図⑩)

昭和43年(1968年)に完成した鉄骨鉄筋コンクリート造りの建物である。儀式・行事が行われる正殿、啓明殿、長和殿及び天皇陛下が御公務をお執りになる表御座前等から構成されている。



正門鉄橋(二重橋)・伏見櫓 (地図⑨・⑩)

通称「二重橋」と呼ばれ、国民から親しまれている正門鉄橋と三代将軍家光の頃、京都・伏見城から移築されたと伝えられている伏見櫓。

山下通り (地図⑪)



2 皇居東御苑内にある主な建物等

(以下一般参観コースには含まれておりません。)

天守台・本丸 (地図⑫)

江戸城の天守閣は、慶長12年(1607年)に完成した。当初、石垣の高さは約14メートルあり、その上に我が国最大の天守閣がそびえていたが、明暦3年(1657年)の大火で焼失した後は、再建されることなく、基礎石である石垣だけが残っている。現在の石垣の高さは約10メートルである。

本丸は二の丸と共に宮殿造営の際に整備され、皇居東御苑として一般に公開されている。



桃華楽堂 (地図⑬)

昭和41年(1966年)に香淳皇后の御葬を記念して建てられた音楽堂で、建物の屋根は「テッセ」の花を模し、柱は華やかな陶片とタイルで彩られている。



楽部庁舎・書院部庁舎 (地図⑭・⑮)

楽部は、雅楽の保存・演奏・演舞・宮殿で演奏される洋楽も担当している。楽部職員が演奏する雅楽は国の重要無形文化財に指定されている。

書院部は、皇室関係の貴重な園書等や全国に点在する陵墓を管理している。



雅楽

平安時代中期(10世紀頃)に今日の形に完成した日本の最も古い古典音楽。毎年秋に一般の方を対象に公開演奏会が開催されている。



二の丸

二の丸には、江戸城当時の庭園に復元した回遊式庭園、武蔵野の面影を持つ雑木林などがある。

皇居三の丸高蔵館 (地図⑯)

三の丸高蔵館は、平成元年(1989)に上皇陛下と香淳皇后により、皇室に代々受け継がれた絵画、書、工芸品、歴史資料などが国に寄贈されたことを機に、その保存と研究、公開を目的に、宮内庁三の丸高蔵館として同5年(1993)11月に皇居東御苑内に開館しました。

館名の「高蔵」は、古代律令制において天皇に関わる器物を管理する蔵司の長官「くらのかみ」に由来し、大切に保管するという意味を持ちます。また旧江戸城三の丸の地に建設されたことから、「三の丸高蔵館」と名付けられました。

令和元年(2019)からは、収蔵庫と展示室を拡充し、より充実した活動を行うために、新たな施設の建設が進められています。同5年(2023)には管理・運営が宮内庁から独立行政法人国立文化財機構へ移管され、同年11月に「皇居三の丸高蔵館」の名称で、一部を開館しました。工事の継続に伴い、同7年(2025)5月から一時休館し、令和8年(2026)秋に全面開館を予定しています。

